

北海道道路メンテナンス会議

近年、中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故など、これまであまり注目されなかった道路インフラの老朽化に関する問題がクローズアップされている。

北海道の道路インフラは本州に比べ新しい年代の施設が多いものの、今後急速な老朽化の時代が到来することは明白である。

本特集では、道路インフラの老朽化対策に向けた全国的な取り組みとして、平成26年6月に設置された「北海道道路メンテナンス会議」をテーマに、まずは老朽化の現状や同会議での取り組みなどを北海道道路メンテナンス会議議長より基調レポートとして寄稿いただいた。

次に、同会議の委員である北海道開発局、北海道建設部、札幌市建設局の各道路管理者に、迫りくる道路インフラの老朽化に対して、どのような取り組みを行おうとしているのか、お話を伺った。

また、地方公共団体では恒常的な人不足・技術力不足が指摘されており、今後も確実にメンテナンスサイクルを継続していくためには、点検・診断等への支援が必須条件といえる。ここではトピックスとして、この支援活動として期待される民間資格制度の中から、「コンクリート診断士」について北海道コンクリート診断士会に、「道路橋点検士」について一般財団法人橋梁調査会にお話を伺った。



基調レポート

北海道の道路インフラの老朽化について ～本格的なメンテナンスサイクルを始動～

北海道道路メンテナンス会議 議長 和泉晶裕氏

インタビュー

インタビュー1

北海道開発局の取り組み

PDCAサイクルによる橋梁長寿命化について
北海道開発局 建設部道路維持課 道路保全対策官 岡田 務氏

インタビュー2

北海道の取り組み 橋梁長寿命化について

北海道建設部土木局 道路課高速道グループ 主幹 信太一氏
北海道建設部土木局 道路課道路計画グループ 主幹 中尾英樹氏

インタビュー3

札幌市の取り組み 道路長寿命化について

札幌市建設局 土木部道路維持課 課長 高久政氏

トピックス

道路インフラの維持管理を支援する民間資格制度

コンクリート診断士

北海道コンクリート診断士会 事務局 大内義仁氏

道路橋点検士

一般財団法人橋梁調査会 企画部企画課長 二宮仁司氏